



# エコマーク ニュース

Eco Mark News

エコマークは公益財団法人日本環境協会が自主的に運営している事業です。エコマークの活動予算は、すべて認定企業の皆様からのエコマーク使用料ならびに商品認定申込者の皆様からの商品認定審査料でまかなわれています。「エコマークニュース」では、「エコマーク事業実施要領」に基づき、エコマーク事業に関する情報を提供しています。

2017.6.15 No.101

## 2016年度「エコマークフォーラム」を開催しました



「エコマークアワード2016」受賞者による記念撮影

2017年2月27日、消費者、事業者等のステークホルダーが集うコミュニケーションの場として、「エコマークフォーラム」を開催しました。本イベントでは、千葉大学大学院工学研究科 教授 松野泰也氏のご講演をはじめ、「エコマークアワード2016」表彰式と受賞団体による取り組みの紹介を行いました。多くの皆様のご来場、誠にありがとうございました。

## 目次・CONTENTS

### エコマークフォーラム特別報告

- 基調講演、「エコマークアワード2016」表彰式 …………… 2

### エコマーク事務局からのお知らせ

- エコマークアワード、リニューアルして募集開始 …………… 4
- エコマークがさらに使いやすくなりました…………… 4

### 認定基準に関するお知らせ

- 認定基準案の公表、認定基準の改定 …………… 5

- エコマーク商品類型（認定基準）の有効期限の延長…………… 6
- 2017年度以降に取り組む新規商品類型の選定結果 …… 6

### 委員会報告

- 運営委員会、基準審議委員会 …………… 6

### トピックス

- GEN役員会出席 …………… 7
- 環境関連イベントへの参加、セミナー開催等 …………… 8

## エコマークフォーラム特別報告

2017年2月27日に開催した2016年度「エコマークフォーラム」について概要を報告します。

### ● 基調講演

千葉大学大学院工学研究科都市環境システムコース教授の松野泰也氏より「世界の先行き不透明な中 大局を見据えた環境行動を」と題して講演いただきました。講演は、ご自身の研究内容や趣味などの自己紹介から始まり、会場は一気に和やかな雰囲気となって進みました。



松野泰也氏による基調講演の様子

相互認証を進めるエコマークの最近の動向を紹介いただきながら、2015年のパリ協定採択や米国トランプ大統領の就任など、昨今の世界情勢を取り上げ、さらに世界の経済成長と二酸化炭素排出量の関連を解説いただきました。また、小型家電リサイクルや都市鉱山といった、2020年東京オリンピック・パラリンピックのメダル作成プロジェクトにまつわるお話や、ホテルで実際に体験されたタイムシェアの事例を紹介され、講演に続いて行われるエコマークアワードの表彰式につながる話題も提供いただきました。先行き不透明な世界の動きと環境をつなげ、技術的な視点を交えながら、非常に分かりやすくご講演いただきました。

### ● 「エコマークアワード2016」表彰式

基調講演に続き、「エコマークアワード2016」の表彰式を行いました。今回が7回目となるエコマークアワードには、以下の3団体および2商品が選ばれました。受賞団体の皆様、おめでとうございます。表彰式に続いて、各受賞団体より受賞理由となった取り組みと受賞商品について、発表が行われました。

◆ 受賞団体によるプレゼンテーション資料は、エコマーク事務局ウェブサイトにてご覧いただけます。

(<https://www.ecomark.jp/info/forum/2016.html>)

#### 金賞 株式会社 帝国ホテル

直営4ホテルすべてでエコマークを同時に取得 ～国際的ベストホテルを目指す企業として、快適性・安全性・利便性の追求と環境配慮を実現～



表彰の様子



事例紹介の様子

#### 銀賞 中央化学株式会社

エコマークを活用して繋がる店頭回収リサイクルの輪



表彰の様子



事例紹介の様子

**特別賞 秋田県 大館市**

地域資源を活用した循環型社会の展開



表彰の様子



事例紹介の様子

**プロダクト・オブ・ザ・イヤー**

ORPHIS FW

理想科学工業株式会社

[エコマーク認定番号：15 155 054]



表彰の様子



事例紹介の様子

**プロダクト・オブ・ザ・イヤー**

グリーンライトバンド

グリーンプラ株式会社

[エコマーク認定番号：16 112 014]



表彰の様子



事例紹介の様子

**●「エコマークアワード 2016」講評—選考委員長 西尾チヅル氏（筑波大学大学院教授）**

エコマークアワード受賞団体の取り組みは、消費者や市民に環境保全の取り組みを浸透させるためのコミュニケーションです。その背後には、優れたものづくりやサービスづくりがあり、それによってはじめて素晴らしいコミュニケーションができるものだと、今回改めて実感しました。エコマーク事務局としても、製品だけでなくサービスを始めとする多様な財を評価する制度を精緻化し、構築していく必要性があると思っています。

また、海外の環境ラベルとの相互認証制度を活用した事例がありましたが、国際戦略として、今後のグローバル化や国際競争力強化の中で、自社の商品がいかに優れているかを示す手段としてエコマークを使っていただき、それが国際的な環境対応の底上げにつながってほしいと期待しています。



選考委員長 西尾チヅル氏  
による講評の様子

**●エコマーク 2016 年度年次活動報告**

プログラムの最後には、エコマーク事務局より、2016年度の活動報告を行いました。

## エコマーク事務局からのお知らせ

### エコマークアワード、リニューアルして募集開始

本年で8回目を迎えるエコマークアワードをリニューアルし、6月15日に募集を開始します。

#### 〈リニューアルのポイント〉

- ・応募にかかる提出書類の簡素化により、エントリーがしやすくなります！
- ・選考スケジュールを変更し、募集から受賞者決定までの時期が早まります！
- ・賞の種類・区分を見直し、幅広い企業・団体からの応募ができるようになります！過去に受賞された方も奮ってご応募ください！

#### 〈募集について〉

##### □募集対象

エコマーク認定商品保有企業またはエコマーク商品等の普及に貢献している企業・団体（プロダクト・オブ・ザ・イヤーは募集の対象となりません。2016年度、2017年度に認定されたエコマーク認定商品の中から、選考委員会が決定します。）

【変更なし】

##### □募集期間

2017年6月15日（木）～8月14日（月）

#### 〈表彰について〉

##### □賞について

- ・優秀賞（企業部門・公共部門・民間部門）[公募]  
【リニューアル】

※優秀賞のうち最も優れた取り組みに「最優秀賞」が授与されます。

- ・プロダクト・オブ・ザ・イヤー [エコマーク認定商品の中から選考]

##### □選考～表彰の流れ

エントリーシートによる一次書類審査を通過した団体を対象に、団体PRフォームによる最終書類審査を経て、受賞者を決定します。受賞者の公表は2017年12月、表彰式は2018年2月を予定しています。

【リニューアル】

- \*応募等詳細は、「エコマークアワード2017」のページにてご案内しております。

<https://www.ecomark.jp/award/2017/>



## エコマークがさらに使いやすくなりました

エコマークの表示規定を見直し、さらにエコマークが表示しやすくなりました。エコマーク使用契約企業はもちろん、エコマーク商品を使用している企業、団体、個人もエコマークを身近に使っていただけます。

### 1. 認定商品へのエコマークの表示パターンが広がりました

エコマークの基本ロゴはA・B・Cの3タイプ。表示スペースや製品パッケージのデザインに応じて、最適なロゴタイプを選ぶことができます（Aタイプが選択できない商品タイプがあります）。ロゴタイプ変更における手続きは必要ありません。

### 2. エコマーク認定商品の使用をアピールする「ユーザーロゴ」を新設しました

エコマーク使用契約者以外の方も、エコマーク認定商品を使用していることを「エコマーク商品ユーザーロゴ」を使ってPRすることができます。企業、地方自治体、個人、団体など、どなたでも使用できますので、ぜひご活用ください。（使用にあたっては申し込みが必要です。）

- \*詳しくは「エコマーク使用の手引」をご覧ください。

<https://www.ecomark.jp/office/guideline/guide/>

## 認定基準に関するお知らせ

### 認定基準案の公表およびパブリックコメントの受付

以下の認定基準案の公表およびパブリックコメントの受付を行いますので、お知らせいたします。

類型番号	商品類型名	公表期間（30日間）
145	プロジェクタ Version2（見直し・新 Version）	2017年6月1日～6月30日
160	廃食用油を使用したバイオディーゼル燃料 Version1（新規）	
505	飲食店 Version1（新規）	2017年7月1日～7月30日

◆認定基準案および意見の提出については（<https://www.ecomark.jp/nintei/public/>）をご覧ください。

#### ■ No.145 「プロジェクタ Version2」（見直し）

プロジェクタは、製品ライフサイクルの各段階のうち使用段階の環境負荷が最も大きいと見られ、特に使用段階のエネルギー消費について、先導的なレベルの基準値を設定しました。また、「水銀に関する水俣条約」の

発効を控え、水銀を使用しないLEDやレーザーの固体光源を使用した製品の普及を促進させる基準内容として、国際的な動向等も踏まえ、総合的な環境負荷低減に資する厳しい基準を設けています。

#### ■ No.160 「廃食用油を使用したバイオディーゼル燃料 Version1」

ディーゼルエンジンに使用する軽油の代替燃料として、廃食用油を原料とするバイオディーゼル燃料は、枯渇資源である石油の使用量を削減し、廃棄物削減にもつながります。また、各種の研究結果では原料採取

から燃焼までのライフサイクルでのCO<sub>2</sub>排出量も軽油と比べて少ないとされており、さらなる普及が期待されます。認定基準では、有害物質の適正処理、安全な使用のための情報提供・品質なども評価しています。

#### ■ No.505 「飲食店 Version1」

飲食店は身近なサービスの一つであり、消費者の関心も高いことから、環境に配慮した飲食店の普及を通じて情報発信を行うことで、環境配慮行動を後押しすることが期待されます。この基準では、省エネ・節水

などの基本的な環境対策に加えて、食材の環境配慮、食品ロス削減に向けた食べ残しが減るような啓発や運動などの消費者の理解を深める取り組みを評価する認定基準になっています。

## 認定基準の改定

以下の認定基準の部分的な改定を行いましたので、お知らせいたします。（VersionのNo.は改定前のもの）

類型番号	商品類型名	改定のポイント	改定日
108	衛生用紙 Version 2.9	トイレトペーパーの品質に関する基準の内容を一部追加	2017年6月1日
137	建築製品（外装・外構工事関係用資材） Version 1.8	分類D-1、D-2に貝殻、卵殻などの再生材料を追加	

◆改定点の詳細については（[https://www.ecomark.jp/office/organization/deliberation\\_data/](https://www.ecomark.jp/office/organization/deliberation_data/)）をご覧ください。

## エコマーク商品類型（認定基準）の有効期限の延長

2018年3月までに有効期限を迎える商品類型について、ガイドラインに従って見直しを行った結果、下記の商品類型の有効期限を延長しました。なお、関係

者と協議の上、必要に応じて新Version認定基準の策定や部分改定を順次進める予定です。

類型番号	商品類型名	(新)有効期限
148	楽器 Version 1	2023年 6月 30日
149	BD/DVDレコーダー・プレーヤー Version 1	2024年 1月 31日
150	電球形LEDランプ (A形) Version 1	2024年 3月 31日
501	小売店舗 Version 1	2023年11月 30日

## 2017年度以降に取り組む新規商品類型の選定結果について

2017年度以降に取り組む新規商品類型について、昨年10月の1カ月間に提案募集を行いました。寄せられた提案ならびに事務局からの提案を踏まえ、エコマーク企画戦略委員会で審議した結果、右記の案件を、2017年度に着手する新規商品類型として選定、または2017年度以降に着手する新規商品類型化の候補として、さらに継続検討することとなりました。

このうち、新規商品類型として選定された「ラミネーター」「電力小売」について、認定基準策定に関する意見、ならびに認定基準案を策定する委員候補を募集

しています（ラミネーターの募集は終了しました）。今後、基準策定委員会にて基準案を検討します。

- 新規商品類型として選定する案件
  - ・ラミネーター
  - ・電力小売
- 新規商品類型化の候補として継続検討する案件
  - ・小売店舗（見直し）
  - ・廃食用油等再生石けんを使用した消火薬剤

## 委員会報告

### 運営委員会（第38回）

第38回運営委員会が2017年3月15日に開催されました。議事内容は以下のとおりです。

#### 〈議事内容〉

1. 2016年度（平成28年度）エコマーク事業報告

2. 2017年度（平成29年度）エコマーク事業計画および予算（案）について

◆資料等詳細は（[https://www.ecomark.jp/office/organization/steering\\_data/](https://www.ecomark.jp/office/organization/steering_data/)）をご覧ください。

### 基準審議委員会（第23回）

第23回基準審議委員会が2017年5月19日に開催されました。審議事項は以下のとおりです。

#### 〈審議事項〉

1. エコマーク商品類型（認定基準）案について

2. エコマーク商品類型（認定基準）の部分的な改定について

◆審議事項および資料等詳細は、（[https://www.ecomark.jp/office/organization/deliberation\\_data/](https://www.ecomark.jp/office/organization/deliberation_data/)）をご覧ください。

## トピックス

### GEN 役員会に出席しました

2017年4月6日、7日の2日間、タイ・バンコクにて開催された世界エコラベリング・ネットワーク (Global Ecolabelling Network、以下GEN) の春季役員会に出席しました。GENはタイプ I 環境ラベルの世界的なネットワーク組織で、昨年、新たにカザフスタンのタイプ I 環境ラベル機関が準会員として、Google, Incが賛助会員として加盟したことで30団体となり、世界51以上の国や地域でタイプ I 環境ラベルが展開されています。

エコマーク事務局は、GENが設立した1994年から発起団体の一つとして加盟しており、財務担当者として運営に関わっています。本春季役員会では、2016年の会計関連を中心に、GENやタイプ I 環境ラベルの普及活動について活発な議論が行われました。

※GEN ウェブサイト

(<http://www.globalecolabelling.net/>)



GEN 役員会の参加メンバー

### 「まつやま環境フェア 2017」に参加しました

エコマークは、2017年2月18日、19日にアイテムえひめ (愛媛県松山市) にて開催された「まつやま環境フェア 2017」に参加しました。

エコマークのブースでは、パネル掲示によるエコマークの紹介と、展示を見て答えるクイズを実施し、クイズ参加者にはエコマーク認定商品のペン (フリクションライト) をプレゼントしました。また、日常生活に身近なエコマーク認定商品を展示しました。ブー

スを見学した小学生からは、「エコマークがついた正規を使っている」「うちわについているのを見た」といった声が多く聞かれました。

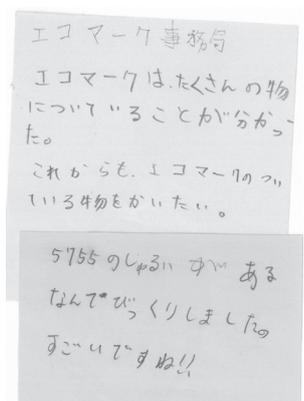
認定商品の展示では、地元 (松山市) の企業の商品として、株式会社ダイキアクシスより浄化槽 (パンフレット)、ミヤモト樹脂株式会社よりRフレッシュ (ごみ袋) を展示し、地域で環境配慮に取り組んでいる企業と商品を紹介しました。

### 「こどもエコクラブ全国フェスティバル」に参加しました

エコマークは、2017年3月19日に早稲田大学理工学部キャンパスにて開催された「こどもエコクラブ全国フェスティバル」に参加しました。

全国フェスティバルは、自主的な環境活動を行っているこどもエコクラブのうち、日ごろの環境活動が優れている各都道府県の代表クラブが集い交流を深める年に一度の大きなイベントです。全国エコ活コンクールの壁新聞部門の特別賞「エコマーク賞」を受賞した大分県「大平山友遊エコクラブ」(壁新聞タイトル:おんせん県 おおいた すごいぞ! 別府の温泉エネルギー発電) に、エコマーク事務局長より表彰状が授与されました。

企業の展示コーナーには、エコマーク認定商品保有企業の株式会社イトーキ、株式会社エフピコ、文化シャッター株式会社などが出展しました。参加したクラブは各社のブースを訪れ、取材した内容を熱心にノートにまとめていました。

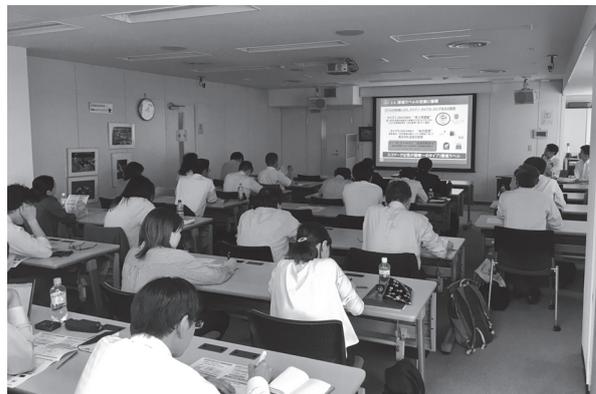


子どもたちの感想

## エコマーク活用セミナーを開催しました

2017年5月22日から25日、および6月1日に、名古屋、東京、大阪にて「エコマーク活用セミナー」を開催しました。参加申込が定員を超える会場もあるなど、エコマークを活用したプロモーションに対する高い関心がかがえました。

セミナーでは、エコマークの社会的な位置づけや、表示や活用の方法などを解説し、さらにエコマークの使用方法を規定した「エコマーク使用の手引」の2017年4月の改定内容についても紹介しました（P.4参照）。参加者からは多くの質問がありました。



エコマーク活用セミナーの様子

## エコマークのパネルが展示されました

2017年5月20日、21日に神奈川県寒川町で開催された環境フェスティバル（会場：寒川総合体育館）にて、エコマークの紹介パネルを展示していただきました。

また、5月20日から6月25日まで大阪市の京阪電車中之島線沿線で開催されている「駅からはじまるアートイベント キテ・ミテ中之島2017」において、エコマークのパネルが展示されました。中之島駅改札外コンコースのおおさかATCグリーンエコプラザのコーナーにて展示中です。また中之島線の各駅には、たくさんのアート作品が展示されています。お近くの方はぜひお立ち寄りください。



「キテ・ミテ中之島2017」でのパネル展示の様子

## 各地の環境イベントへの出展予定

- ・2017年7月23日（日） エコプロダクツ川越（埼玉県川越市 環境プラザ「つばさ館」）
- ・2017年8月 5日（土） 2017 としまエコライフフェア（東京都豊島区役所 としまセンタースクエア）

エコマークニュース 第101号 2017年6月15日発行

編集・発行／公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局  
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9F  
TEL：基準・認証課 03-5643-6253 FAX：03-5643-6257（各課共通）  
総務・契約監査課 03-5643-6255  
普及・国際協力課 03-5643-6255  
Homepage: <https://www.ecomark.jp> E-mail: [info@ecomark.jp](mailto:info@ecomark.jp)



エコマークは（公財）日本環境協会の登録商標です。